

社会福祉法人自遊学舎
グループホーム ワークランド桂川
令和6年度 事業報告

障害福祉サービス
《共同生活援助》

共同生活援助事業
(グループホーム ワークランド桂川)

○利用者 年度当初 4名
 年度末 4名
 延べ利用者数 1, 444名

支給決定市町村	桂川町	飯塚市	大野城市
人数	1名	2名	1名

・入居の理由

自立のため
両親と共に暮らすのが困難
一人暮らしが困難
保護者が高齢なため

○職員 (配置) 6年度末
 管理者 1名 サービス管理責任者 1名 世話人 2名
 《ワークランド桂川(多機能型)と兼務あり》

○利用者の支援内容

・金銭管理

金銭管理については、桂川町社会福祉協議会や司法書士との連携を行ったり、毎週定額のお小遣いを渡し、ノートの出納記録を確認する等、個人個人にあわせた金銭管理をおこなった。

・食事支援

肥満や生活習慣病等の予防も考え、野菜や魚を多くとり入れ、バランスの良い食事を提供した。

・夜間緊急時支援

職員が不在の夜間については、バックアップ施設の職員が携帯電話を持ち回り、ALSOKのガードシステムを設置する事で、警備・緊急時対応を強化した。

○防犯・防災

避難・消火・通報訓練

令和6年9月23日

令和7年2月24日

夜間の火災を想定して桂川消防署へ連絡し、利用者さまによる通報及び避難訓練をおこなった。

その後、水消火器による消火訓練を実施した。通報訓練では、グループホームの住所をなかなか伝えることができなかったのが、普段から言えるように練習する必要がある。

ALSOK、消防署の自動通報システムを取り入れ、防犯、防災に対する安

全面を強化した。また、緊急時に **ALSOK** の隊員が到着したときに、要件等が伝えられるようにピクトグラムのようなイラストボードを用意した。

○健康管理

- ・ 1 人での通院が困難な利用者さまや、医師からの検査結果の説明の同席など通院同行をおこなった。
- ・ 地域の健康診断（年 1 回）にて保健師のアドバイスをもらい食事面や運動について話し合った。食事面での改善が見られ、利用者さまの体重が減っている。

○生活支援

問題行動についてはその都度、注意・指導をおこない円滑な共同生活が送れるよう支援した。

○個別支援計画策定会議（半年毎）

○虐待防止、身体拘束会議

委員会を設置し、施設内での支援を検討し会議内容を世話人に周知した。

○法人全体会議

- ・ 6 月 21 日 昼食後、利用者さまをご自宅への送迎した後に、スタッフ全員で会議をおこなった。
- ・ 8 月 22 日 障がい者基幹相談支援センター長の藤嶋氏を迎え、「障がい者虐待の基本的な理解 虐待防止のための取り組み」と題して講演を行っていただいた。

○感染予防対策

- ・ オゾン脱臭機エアバスターを設置。
- ・ 毎朝の検温と記録。
- ・ グループホーム内でも必ずマスクを着用することや帰宅時の手洗いの徹底などの指導。

〔苦情等解決機関の設置と実績〕

令和 6 年度の苦情・要望等の実績

申出年月日	申出者	申出内容	解決結果
R 7. 2	利用者	リビングで夕食を温めようとしたが、M さんが早々と 2 階から降りてきたので、気になって温められずに部屋に戻った、という電話があった。リビングには入ってこなかったが、心配がきになる、との事。	この時期は、M さんが割り振った時間より多少早く降りてくることがあったので、時間を守って降りてこない、前の人が急かされている気がして落ち着かない事を伝える。その後は時間を守るようになっている。